平成 26 年 3 月 10 日
英語理数科・理数コース

数学オリンピックに挑戦！（結果報告）

平成 26 年 1 月中旬に行われました公益財団法人数学オリンピック財団が主催する数学オリンピック甲信越・北陸地区予選大会に、英語理数科理数コース2年生の長谷川風悟君が出場しました。残念ながら、本選への出場権をあと一歩というところで逃してしまいましたが、好成績が認められて賞状とメダルが授与されました。

― 本選での様子と結果を教えてください。

「私は今年の 1 月 31 日に数学オリンピックの予選に参加しました。結果は 12 問中 5 問正解で、あと 1 問正解すれば予選を突破することができたのに計算ミスでその 1 問を落としてしまいました。非常に悔しいです。」

― 数学オリンピックに出場しようと考えた理由は何ですか？

「担任の先生に参加を勧められたからです。私は高校に入学するまで数学オリンピックのことを知りませんでした。だから初めてその問題を見た時は驚きました。見たことがない形式、経験したことのない難易度の問題ばかりだったので、これらの問題を解くために様々な勉強をするようにしました。」

― 例えばどのような勉強をしたのですか？

「問題を解くときに、一番簡単な解法を考えたりしました。また、一つの問題に対して複数の解き方を考えてみるようにしました。数学オリンピックの問題は難問ばかりなので、常に難易度の高い問題に挑戦するようにもしました。」

― 数学は楽しいですか？

「実は、高校に入学するまでは数学を面白いと感じたことはありませんでした。初めて面白いと思ったのは、絶対値の付いた関数を学んだ時でした。それは私が抱いていた関数のイメージとは全く異なるものだったのです。また、今まで解けなかった問題が解けるようになると、とても嬉しいし、面白いと感じます。これからももっと数学の新たな面白さを発見していきたいと思います。

― 将来の目標を教えてください。

「今は東北大学理学部を目指して受験勉強をしています。大学卒業後の明確な目標はまだ決めていませんが、大学院でさらに数学を学んでいきたいと考えております。」